神杉自治会だより

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
発刊 2020/8/10
7月末(前月比)
人口 1,528(▽1)
世帯 606(+1)
ホームページ
http://kamisug-m.com/

8月

自治会長会議開催

去る八月六日(木)今年度第一回目となる自治会長会議を開催した。

会議では有田雅俊自治連合会会長の新型コロナウィルス感染防止上、多くの事業を中止若しくは延期を余儀なくされた。コロナ情勢は一向に回復の兆しは見えない状況が続いています。今日は神杉三大事業のふれあい祭りほかについてご意見をいただきたくお集まりいただきました。と挨拶された。

協議事項の第二七回神杉ふれあい祭りについては

・コロナ情勢は全国的に第二波感染の兆候が見え、終息へは至ってない。

・市内他イベントも中止の判断をされている。

等によりやむなく今年度の**『神杉ふれあい祭りは中止する』**と決定なりました。

次に、神杉コミュニティセンターの改築につきまして、平成二四年一二月五日に保育所・小学校プール・放課後児童クラブ・コミュニティーセンターの早期建て替えを求め要望書を前増田市長に提出しコミニティセンター以外の施設につきましては念願が叶いました。残るコミュニティセンターにつきましては平成三〇年一二月に改築促進委員会を発足し翌年二月二〇日付けにて前増田市長へ、令和元年九月一八日付けで現福岡市長宛にと過去三回に亘り要望書を提出しております。

しかしながら、現時点では進展の兆しは表れていません。そこで改めて市長及び市議会議長宛に改築促進委員会と神杉地区内各種団体・組織代表者による要望書を提出することと決定なり、今後は提出後の展開としてあらゆる角度からこの運動を展開しようとの確認がされました。

次に定住対策についてですが、三次市より委託された(一社)持続可能な地域社会総合研究所所長 藤山 浩 氏により我らの神杉地区は人口構成において高評価をいただいております。しかしながら将来に亘り約束されたものではありません。そこで近年、概ね一〇年以内に転入定住された方々に「神杉地区」を選択された経過等アンケート調査を実施、今後の活動に生かして行きたいと考えます。つきましては、各自治会長様より該当者様にアンケート用紙を配布させていただく予定です。

ご協力をよろしくお願い致します。

戦後75年記念 平和と戦没者慰霊のつどい

八月六日（木）午前九時より例年なら平和学習会の後、慰霊碑前にて式典を開催するところ、今年度はコロナ感染防止の三密回避から式典のみとなった。

式は折からの猛暑の中、人数も規模縮小され、総員三六名余りお集まりいただき、先人を偲び永久の平和を祈念するつどいとなった。

式辞

広島に原爆が投下されて七十五年目の節目である八月六日を迎えました。

本日の慰霊祭は、新型コロナウィルス感染防止のため規模縮小で行うこととなりましたが、神杉遺族会をはじめ多くの代表の方々の参列のもと、「平和と戦没者慰霊の集い」を行い、ここに眠っておられる皆様方の慰霊と平和への決意を報告できますことに、自治会連合会として喜びとするところです。

わたしたちは、英霊の皆様の自らを犠牲にした戦いのお陰で今日があること、また昭和二十年八月六日に落された原子爆弾によって犠牲となり、ここに眠っておられる人々がおられることも決して忘れてはおりません。

今世界を不安定にしているのは核軍備拡張競争であり、廃絶に向けた核軍縮こそ人類の平和共存への道が開けると信じています。

人類と共存できない核兵器は無くするしかありません。そんな被爆地の思いを形にした核兵器禁止条約が国連で採択され今月で三年となりました。あと十か国・地域が条約に対する国の確定的な同意があれば発行されます。発効されれば核兵器の使用や威嚇はもちろん保有まで法的に禁じられます。

原爆の地広島から全世界に向け核兵器のない世界の実現に向けて、核兵器廃絶を訴える意義は大きいと思います。

現在、広島や長崎の被爆者や戦争体験者の高齢化により、原爆と戦争の記憶は風化しつつありますが、こういう時期だからこそ私たち一人ひとりが平和の尊さについて考え次世代へ継承し恒久平和の実現に向けた地道な取り組みが大切だと思っております。

そのためにも、今日の「平和と戦没者慰霊の集い」を礎とし改めて戦争で犠牲になられた人々への祈りを込めて霊前にお参りするとともに、自分には何ができるかを問う場にしたいと思っています。

本日、核も戦争もない世界の恒久平和を願って、神杉保育所・神杉小学校児童を始め神杉遺族会・地域住民の各代表による折り鶴奉献を行いますが、これからも神杉地区住民がお互いに助け合い絆をふかめていくことによって、神杉からも平和への願いを世界に発信していきたいと思っています。今日、私たちが今一度平和の尊さをかみしめ、戦争犠牲者の御霊に対し決意を新たにすることを誓うとともに、御霊が安らかに眠られることを祈念し、主催者代表としての式辞といたします。

令和二年八月六日

神杉地区自治会連合会
会長　有田　雅俊

誓いの言葉

遺族会を代表して、誓いの言葉を申し上げます。

あの痛ましい原子爆弾の投下から、七十五回目の節目となる記念日が今日やってまいりました。

本日は、神杉自治連合会の主催による慰霊の集いが世界で猛威を振るっている新型コロナウィルスの感染拡大を鑑みこのような状況の中、英霊顕彰と平和の思いを込めた集いが行われますことを先ずご英霊の皆さま方にご報告申し上げます。

先の大戦により多くの尊い命が奪われました。

この多くの犠牲者のもとに今の平和な生活を送れていることを決して忘れてはいけません。

今でも核兵器の開発、弾道ミサイルの発射等が続けられていることを断じて許すことは出来ません。

将来を担う若者たちが夢と希望を持てる社会の構築、そして世界の恒久世界を念じ誓いの言葉といたします。

ご英霊の皆様どうか安らかにお眠り下さい。

最後に七月の豪雨で被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

令和二年八月六日

遺族代表　小田　義則

平和の誓い

昭和二十年八月六日広島に原子爆弾が投下され、多くの方が命を落とされました。

それから七十五年、僕たちは平和で戦争のない、この神杉で、毎日勉強や運動を頑張っています。しかし、日本が戦争をしていた当時、小学生でも戦争のために勉強や遊ぶことが十分にできなかったと聞きます。

戦事中、僕のひぃばあちゃんは工場で銃の弾丸を作っていたそうです。「自分が作った弾丸が人の命を奪うかもしれない。」ひぃばあちゃんはそう考えたかもしれません。ひぃばあちゃんに限らず、だれもが人を傷つけるものなど作りたくないでしょう。多くの人の命をうばう戦争が起こらないようにするために、僕たちは何ができるでしょう。それは僕たち一人一人が、小さなことでも争い事を起さないようにすることだと思います。友達のことを考え、僕たちを見守り、支えてくださる家族や地域の方、先生方に感謝する気持ちを忘れなければ争いごとなど起こらないと思います。今、新型コロナウィルス感染拡大で多くの方が苦しんでいます。僕たちも制約を受けながら学んだり遊んだりする毎日です。こんな時だからこそ、互いの気持ちに寄り添い、認め合い、助け合うことが求められます。それは僕たち子どもでもできることです。今ある平和に感謝し、家族や友達や地域の人達を大切にし、神杉の平和、世界の平和を守り抜くことをここに誓います。

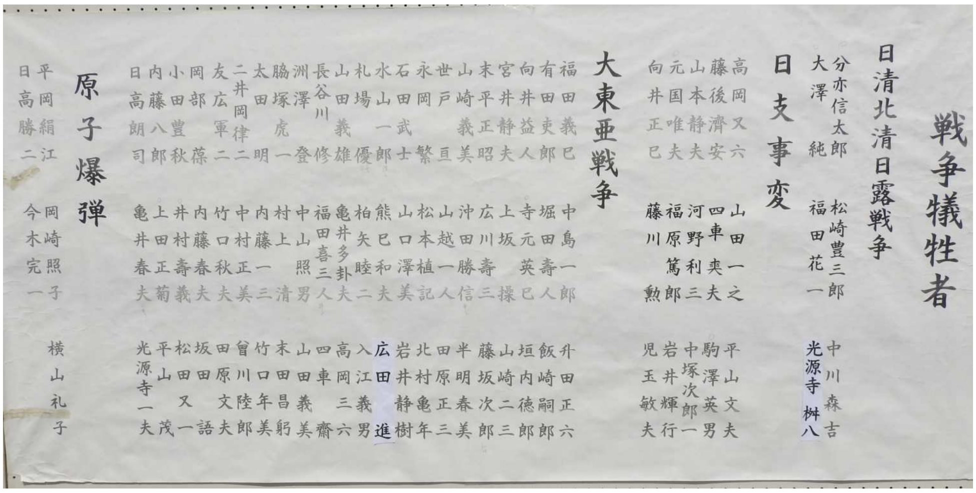
令和二年八月六日

神杉小学校児童代表　日髙　直利

児童代表の　日髙君

折り鶴奉献の福島・田原さん

遺族会の小田会長



戦争犠牲者

日清北清日露戦争

分亦信太郎
大澤純
松崎豊三郎
福田花一
中川森吉
光源寺桝八

日支事変

高岡又六
藤後濟安
山本静夫
元国唯夫
向井正巳
山田一之
四車奭夫
河野利三
福原篤郎
藤川勲
平山文夫
駒澤英男
中塚次郎一
岩井輝行
児玉敏夫

大東亜戦争

福田義巳
有田吏郎
向井益人
宮井静夫
末平正昭
山崎義美
世戸亘
永岡繁
石田武士
水山一郎
札場優
山田義雄
長谷川修
洲澤登
脇塚虎一
太田明
二井岡律二
友広軍二
岡部蓧
小田豊秋
内藤八郎
日高朗司
中島一郎
堀田壽人
寺元英巳
上坂操
広川壽三
沖田勝信
山越一人
松本植記
山口澤美
熊巳和夫
柏矢睦二
亀井多卦夫
福田喜三人
中山照男
村上清
内藤一三
中村正美
竹口秋夫
内藤春夫
井村壽義
上田正菊
亀井春夫
升田正六
飯崎嗣郎
垣内徳郎
山崎二三
藤坂次郎
半明春美
田原正三
北村亀年
岩井静樹
広田進
入江義男
高岡三六
四車齋
山田義美
末田昌躬
竹口年美
曾川陸郎
田原文夫
坂田語
松田又一
平山茂
光源寺一夫

原子爆弾

平岡絹江
日高勝二
岡崎照子
今木完一
横山礼子

献花の前原保育所長

献花の JA 三次東部千崎支店長

感染拡大防止に向けたフェーズ毎の主な対応

	徹底した行動変容の要請によるまん延防止			新しい生活様式による感染拡大の予防
区分	レベル４	レベル３	レベル２	レベル１
まん延の状況	感染の状況が厳しい	疫学的状況 《考慮される事項》 新規感染者数，倍化時間，感染経路不明感染者数の割合，PCR検査体制 医療機関での患者受け入れ状況，軽症者等宿泊療養施設の確保状況等		新規感染者数が限定的
	病状に応じた迅速な医療提供困難	医療状況		病状に応じた迅速な医療提供可能
県民の皆様への要請	・人との接触機会を８割削減 ・全日の外出自粛	・人との接触機会を８割削減 ・全日の外出自粛	・週末の外出自粛	
	他地域との往来自粛			
	3密回避，体調管理，手洗い・咳エチケット，人との距離確保			
		屋外における少人数以外でのイベントの自粛	屋外・屋内における少人数以外でのイベントの自粛	
事業者・企業への要請	・出勤者数５割減（Web会議，テレワークの活用，不急な会議・出張の中止　等） ・感染防止対策（時差出勤，座席間距離確保，執務オフィス分散　等）			・３密回避 ・Web会議，テレワーク，時差出勤等の積極的活用
	・不特定多数が利用する施設等の休業要請については，県HP「休業への協力要請の対象となる施設一覧」のとおり			

五月の「こいのぼり」の後を受け、例年になく長引いた梅雨明けの七月末から、ご覧の七色八枚のTシャツが十五区圃場の一画に揚がっています。

これは一向に終息の兆しが見えぬどころか、第二波来襲とも言われておりますコロナウィルスに対し、神杉では『笑顔で手をつなぎ感染を防止するぞ』との強い意思表示でもあります。

まもなくお盆が始まります。例年の秋の行事は感染拡大防止から中止を余儀なくされています。

こんな時こそ

がんばろうかみすぎ

発案は有田自治連合会会長です。

山脈俳句会《七月》

梅雨の雨水禍とともに消えた村　中藤　博文

万緑や緑児のこし逝きし人　加藤　茂夫

車窓よりひまわり畑心晴れ　田原　洋子

うねる波古木抱えて梅雨出水　広川テル子

8月・9月の行事予定

8月

11日(火)　広報紙配布　三味線講座　舞踊
12日(水)　パン教室
14日(金)　**盆休み**
17日(月)　子ども110番の家訪問
19日(水)　書道講座
23日(日)　グランドゴルフ月例会
25日(火)　舞踊　三味線講座
27日(木)　俳句・絵手紙・大正琴講座　三役会議
28日(金)　生花講座

9月

10日(木)　広報紙配布
20日(日)　**敬老会中止**
21日(月)　**敬老の日**
22日(火)　**秋分の日**

太陽光発電・蓄電施設工事　着工日決定

8月17日より

期間中ご迷惑おかけします。